

双葉郡 (第六部) (建設開始)

片寄洋一



着工前の福島原子力発電所用地全景
(双葉町、大熊町にわたる)



原子力発電所建設計画が具体化し、東京電力と福島県が独自に調査した結果、最適地が3地点に絞られ

- 大熊町・双葉町
- 双葉町
- 浪江町

この調査結果は1959年、東電の常務会で報告され、木川田自身が現地を身分を隠して隠密裏に視察をし、更に専門家に現地調査を依頼している。

福島県としては、この時点以前から原発誘致を計画しており、当時の知事佐藤善一郎氏は過疎地双葉郡に原発を誘致することを考えており、県独自の調査を命じて原発誘致の可能性を探っていた。調査を重ねて、当初は東北電力に打診したが、当